

北海道で死亡野鳥からA型鳥インフルエンザウイルスが検出されました！！

北海道美唄市において、死亡したハシブトガラスからA型鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

今年度の渡り鳥飛来シーズンを迎えて以降、国内初となる鳥インフルエンザウイルスの検出が疑われる事例です。

再度、飼養衛生管理基準を点検し、野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底して下さい。また毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報して下さい。

<経緯>

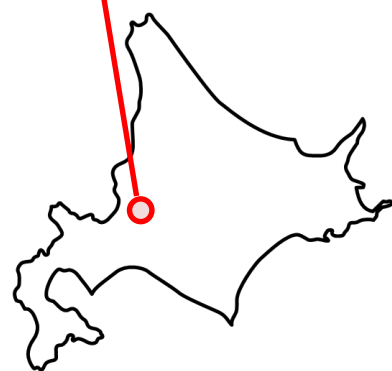
10月4日

- ・北海道美唄市でハシブトガラス（死亡個体）1羽を回収。
- ・同日、簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応を確認。

<対応>

- ・今後、高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査にて確定検査を実施。
- ・今回の回収地点周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し監視強化。

美唄市



◆病原性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザが確認されたわけではありません。

【発生予防対策のポイント】

野鳥等の野生動物の家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



農場に入る車両の徹底した消毒



小型の野生動物の侵入防止



野生動物対策

家きん舎

家きん舎内に入る人・物の徹底した消毒



人・物・車両対策

- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

☎：0773-25-1860

*休日・夜間は転送されます